

1. 案件の概要

(1) 案件名

(和文) 令和元年度国別研修ネパール「算数教育の質の向上」

(英文) Improvement of Quality of Mathematic Education

(2) 研修期間

令和元年 10 月 15 日～令和元年 10 月 25 日

(全体受け入れ期間：令和元年 10 月 11 日～令和元年 10 月 26 日)

(3) 研修員数 8 人

(4) 国立大学法人 鳴門教育大学 研修コースリーダー 石坂 広樹

2. 案件目標(アウトカム)と単元目標(アウトプット)の達成度

(1) 案件目標(アウトカム)

案件目標：「小学校 1 年生～3 年生の基本的な算数能力が向上する」というプロジェクト目標を達成するために本件研修を通じて日本における算数カリキュラム・教科書の開発・改定の理論・手法・プロセスを理解し，研修員が研修で得られた知識とスキルを活用できるようになる。

指標： 研修員が本邦研修終了時に小学校 1 年生～3 年生の算数教育に係るカリキュラム案・教科書案・アクションプランを提出し，研修員の帰国後 2 ヶ月以内にアクションプランが所属組織の中で共有される予定になっている。

(2) 単元目標(アウトプット)

単元目標①：統合カリキュラム (Integrated Curriculum) の算数の部分の改定案ができる。

指標： 研修終了時の発表において算数カリキュラムの改定案 (フォームおよび一部の単元) が提示される。その内容作成に当たって研修員の携わり方・貢献度について 4 段階評価で B (やや優れている) 以上。

単元目標②： 小学校1年生から3年生の算数教材案が作成される。

指標： 研修終了時の発表において算数教材案 (作成方針) が提示される。その内容作成に当たって研修員の携わり方・貢献度について 4 段階評価で B (やや優れている) 以上。